



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2022年6月14日

都道府県知事
いわき市長 殿

提出者

住所 福島県いわき市南台3-1-5
氏名 住化加工紙株式会社 いわき工場
工場長 森川 誠(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0246-62-0911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2021年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住化加工紙株式会社
事業場の所在地	福島県いわき市南台3-1-5
事業の種類	パルプ・紙・加工紙業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,226 t	全処理委託量	1,226 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1,218 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	8 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

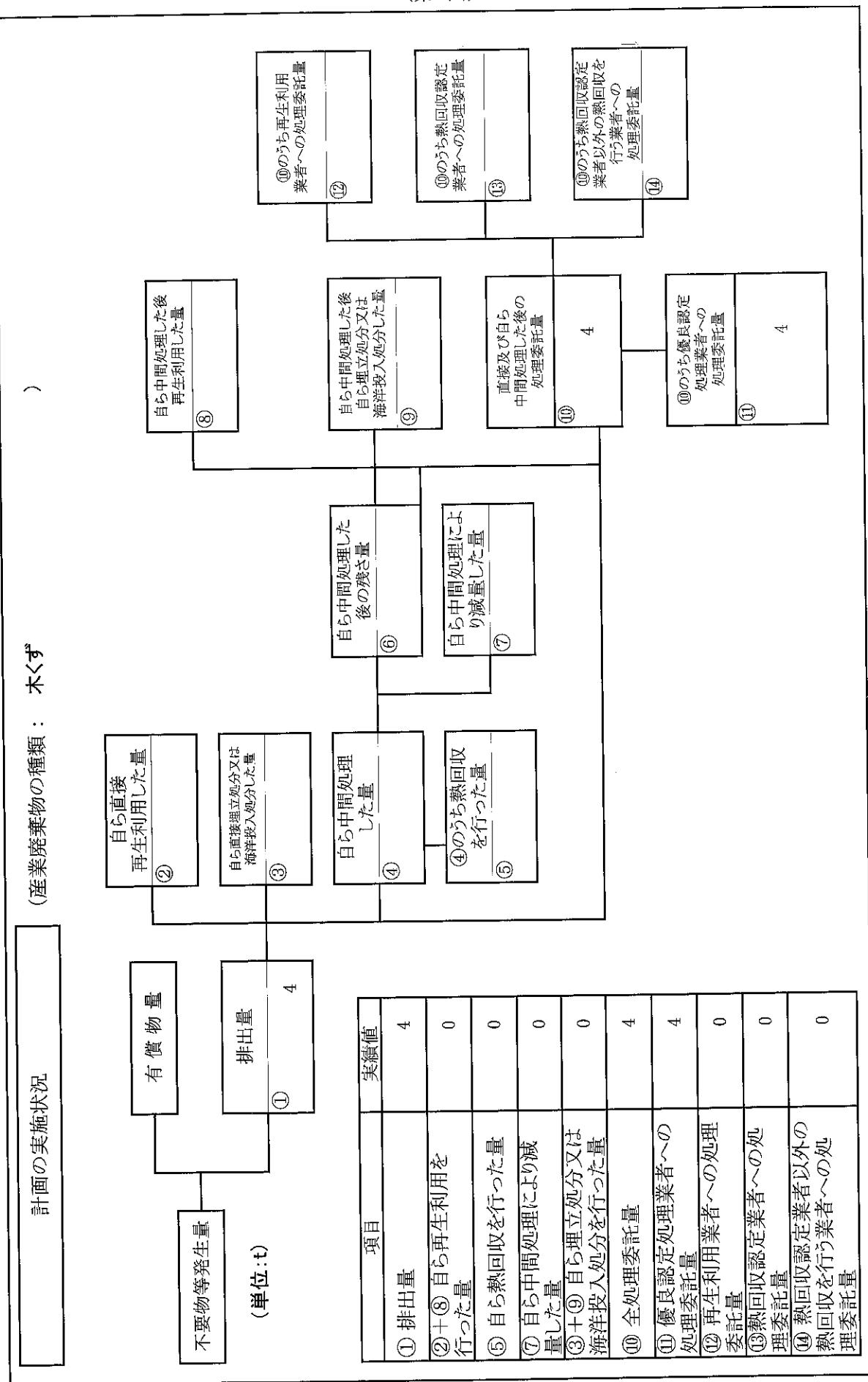
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

項目	実績値
① 排出量	1,139
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1,139
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,137
⑫ 再生利用率	1
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	1
⑮ 有償物量	1,139
⑯ 不要物等発生量	
⑰ 自ら直接再生利用した量	
⑱ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑲ 自ら中間処理した量	
⑳ 自ら中間処理による減量した量	
㉑ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
㉒ 自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した量	
㉓ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
㉔ ⑩のうち熱回収認定業者以外の行う業者への処理委託量	
㉕ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量	1
㉖ ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	1
㉗ ⑫のうち自ら直接再生利用した量	1,137
㉘ ⑬のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
㉙ ㉚ ⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	1
㉛ ㉜ ⑮のうち有償物量	1,139
㉝ ㉞ ⑯のうち不要物等発生量	
㉟ ㉞ ⑰のうち自ら直接再生利用した量	
㉟ ㉞ ⑱のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
㉟ ㉞ ⑲のうち自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉑のうち自ら中間処理による減量した量	
㉟ ㉞ ㉒のうち自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉓のうち⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉔のうち⑩のうち熱回収認定業者以外の行う業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉕のうち⑪のうち再生利用業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉖のうち⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉗のうち⑫のうち自ら直接再生利用した量	1,137
㉟ ㉞ ㉘のうち⑬のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
㉟ ㉞ ㉙のうち⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉜のうち⑮のうち有償物量	1,139
㉟ ㉞ ㉞のうち⑯のうち不要物等発生量	
㉟ ㉞ ㉟のうち⑰のうち自ら直接再生利用した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち⑱のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち⑲のうち自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉑のうち自ら中間処理による減量した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉒のうち自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉓のうち⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉔のうち⑩のうち熱回収認定業者以外の行う業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉕のうち⑪のうち再生利用業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉖のうち⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉗のうち⑫のうち自ら直接再生利用した量	1,137
㉟ ㉞ ㉟のうち㉘のうち⑬のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
㉟ ㉞ ㉟のうち㉙のうち⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉜のうち⑮のうち有償物量	1,139
㉟ ㉞ ㉞のうち㉞のうち⑯のうち不要物等発生量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち⑰のうち自ら直接再生利用した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち⑱のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち⑲のうち自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉑のうち自ら中間処理による減量した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉒のうち自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉓のうち⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉔のうち⑩のうち熱回収認定業者以外の行う業者への処理委託量	
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉕のうち⑪のうち再生利用業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉖のうち⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉗のうち⑫のうち自ら直接再生利用した量	1,137
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉘のうち⑬のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉙のうち⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	1
㉟ ㉞ ㉟のうち㉟のうち㉜のうち⑮のうち有償物量	1,139

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

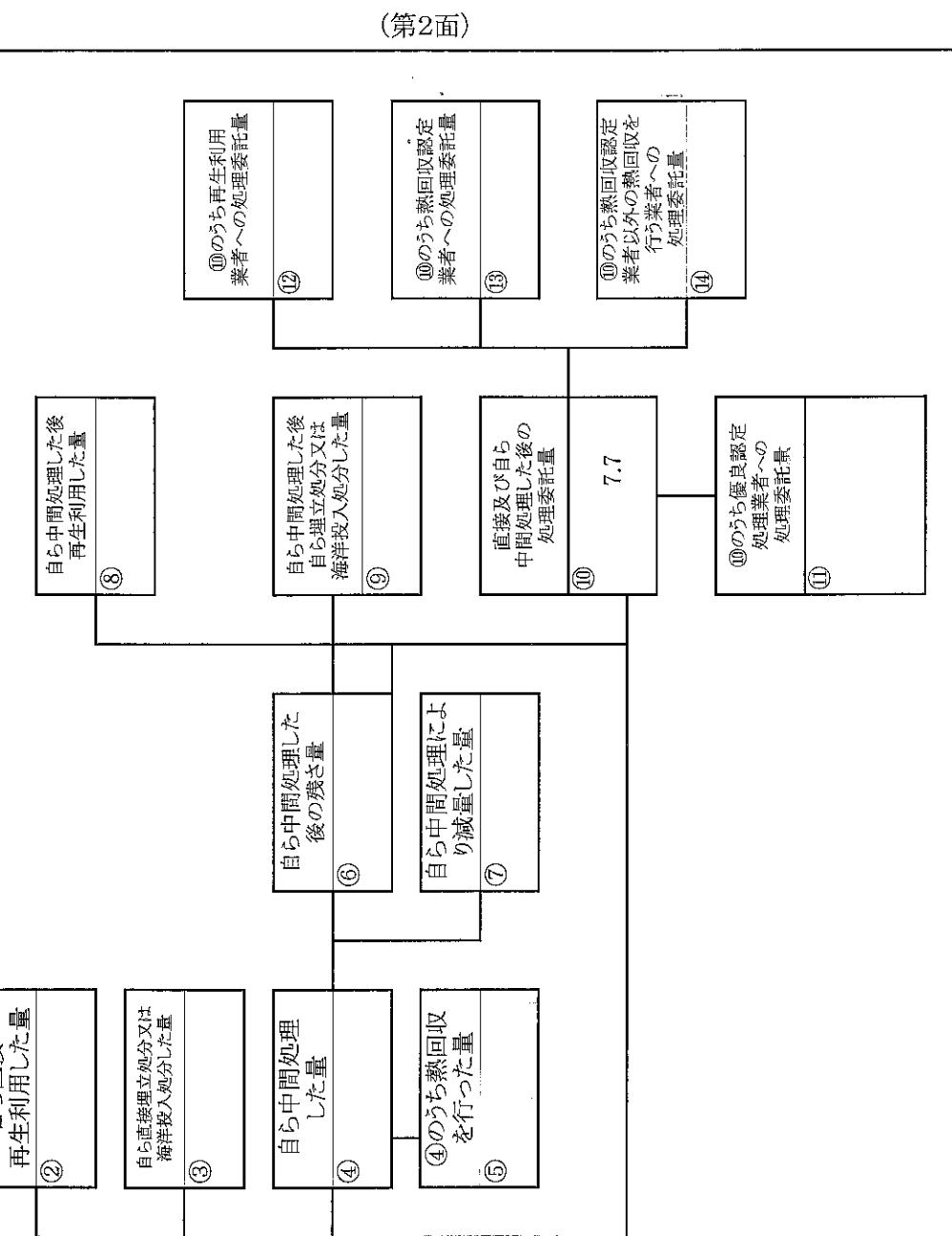


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器・セラミック・紙くず)

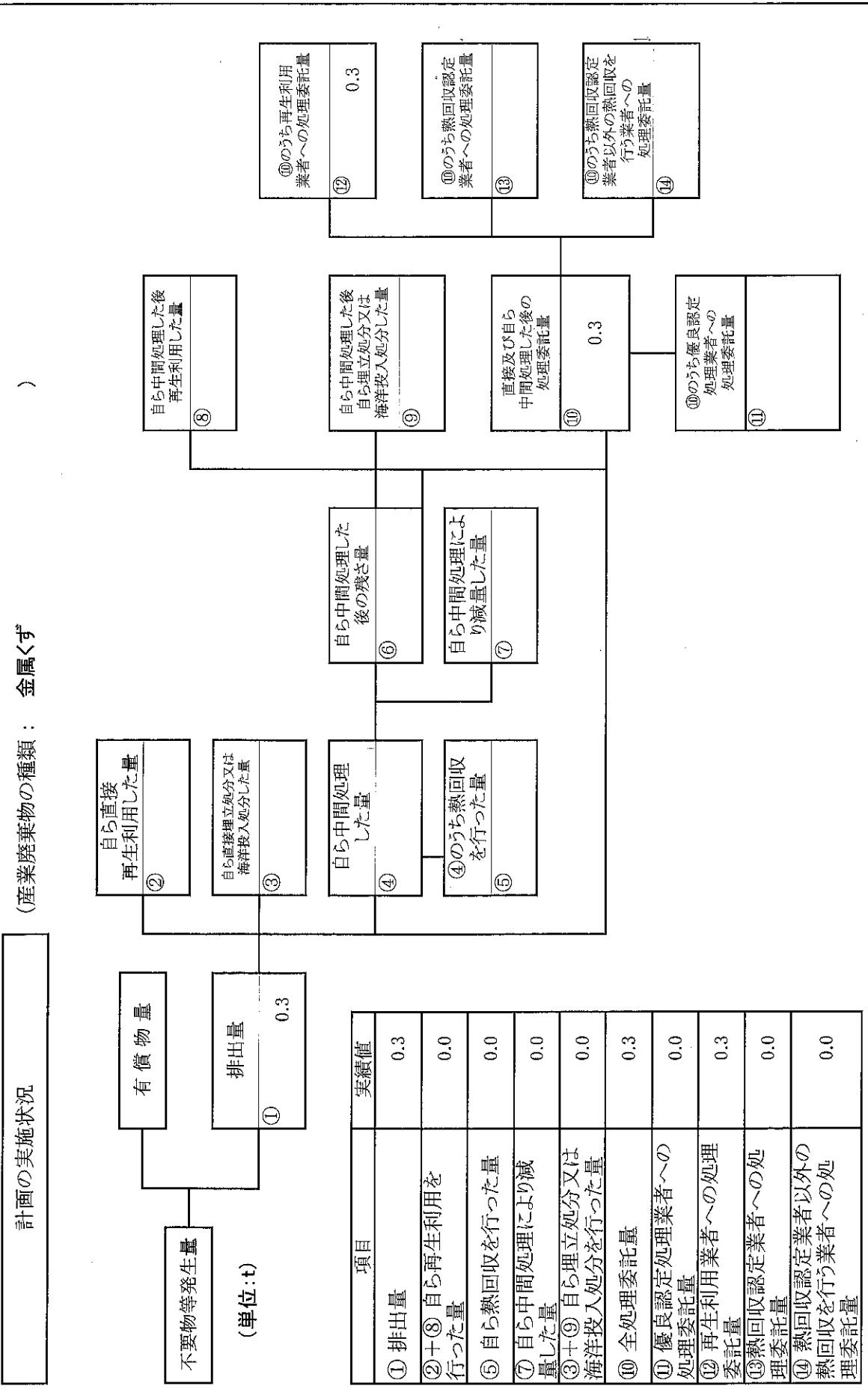
有償物量	(単位:t)	排出量	①	7.7
		②	③	④
自ら直接 再生利用した量	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理 した量	⑤	⑥
		⑦	⑧	⑨
不要物等発生量	自ら熱回収を行った量	⑩のうち熱回収 を行った量	⑪	⑫
		⑬	⑭	⑮
項目	実績値			
① 排出量	7.7			
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0			
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0			
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0			
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.0			
⑩ 全処理委託量	7.7			
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.0			
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	0.0			
⑬ 热回収認定業者への処 理委託量	0.0			
⑭ 热回収認定業者以外の 热回収を行う業者への処 理委託量	0.0			



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立2021年4月1日～2022年3月31日
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。